

# 第1回熊本県市町村合併推進審議会の概要について

## 1. 確認された事項

- ・会長は、中川義朗（熊本大学法科大学院教授）委員。
- ・会長職務代理者は、今里佳奈子（熊本県立大学総合管理学部助教授）委員。
- ・会議は、原則公開。場合によっては、会長が会議に諮り非公開とする。
- ・今後、審議会においては、国の基本指針等を踏まえて「自主的な市町村の合併の推進に関する基本的な事項等」、「構想対象市町村の選定」、「構想対象市町村の組合せ」、「合併推進方策の検討」について、審議を行っていく。
- ・次回開催日は、10月下旬を目途に、各委員の日程を調整し決定する。

## 2. 主な意見等

### ◇今後の審議会の進め方について

- ・実際に合併した市町村の首長等から話を聞く機会を審議会の中で作って欲しい。
- ・自主的な市町村の合併は、どうあるべきかビジョンが必要。人口1万未満の小規模町村の合併のみでなく、生活圈域を踏まえた合併や行政権能等の充実を図る合併についても、論議をお願いしたい。
- ・生活圈域を踏まえた合併については、基準が難しいが具体的なデータを示して、審議会の中でも検討できるようにお願いしたい。

### ◇合併新法下の市町村合併について

- ・平成12年の県推進要綱策定当時と環境がどう変わっているのか整理が必要。
- ・旧法下であった財政支援措置のない中で、自主的な合併が果たして進むのか疑問。

### ◇県への要望

- ・旧合併特例法が失効した今、市町村合併が一段落したと思っている市町村がある。引き続き合併を推進していくにあたり、「何故、今、合併が必要なのか」について、県も住民に対して周知を図っていただきたい。